

「第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針（案）」に
寄せられたパブリックコメントの実施結果について

子育て教育部教育総務課

十日町市教育委員会では、「第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針」の策定にあたり、平成31年4月23日に方針案を公表し、パブリックコメントを実施しました。実施結果と本市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

貴重なご意見・ご提案をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 パブリックコメントの概要

案件名	第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針（案）
意見募集の期間	平成31年4月23日から令和元年5月20日
広報方法	・市報掲載（平成31年4月10日号） ・市ホームページ掲載 ・市教育委員会教育総務課、市企画政策課、各支所地域振興課、各公民館及び情報館において資料閲覧に供した。

2 パブリックコメントの実施結果

意見提出者数及び意見数	24人 24件（うち無効数 1人 1件）
提出方法	窓口4件、郵送2件、電子メール13件、FAX5件

3 いただいたご意見の内容（要旨）と市の考え方

ご意見の要旨	市の考え方
1 1ページ 第1次方針の「はじめに」の中で、「この方針は、教育委員会の考え方を市民の皆様に提案するものであり、」という表現があり、第2次方針にはないが、違いがないなら必要である。 第1次方針では「合意を得ながら」、第2次方針は「ご理解をいただきながら」とあるが、理解より合意が良い。	1 教育委員会としては、第1次方針と同様に「合意」という表現を加え、さらに第2次方針としてまとめた考え方について、保護者や地域との話し合いを十分に重ねることを強調した文章にしました。
2 1ページ 「はじめに」において、「各学校・地域での話し合いを十分重ね」とあるように、住民の総意・合意により選択することが大事である。「子どもたちにとってより望ましい教育環境」について、住民が自ら考え、話し合い、希望し、選択できるよう関係各位の理解を願う。	2 教育委員会として、「子どもたちにとってより望ましい教育環境」の実現のため、第2次方針を策定しました。本方針を保護者や地域の皆様に説明申し上げ、合意を得たうえで再編を行う考えであることから、表現を修正します。

<p>3 13 ページ 「十日町市の学校教育」の(1)目指す子どもの姿に「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」を育てていくことが大事とあり、それには、知力・体力・精神力・コミュニケーション力などが必要だと思う。小学校は複式学級にならない程度に地域に残し、地域全体で子どもたちを育てる仕組みが必要。中学校は、多様性が求められる年代なので、大きな学校にして精神力・コミュニケーション力をつけることができると思う。</p>	<p>3 ご意見のとおり、第2次方針では小学校の複式学級解消と中学校では1学年2学級以上という基準を設け、より望ましい教育環境を整備するよう努めます。</p>
<p>4 20 ページ 7学区再編計画</p>	<p>7学区再編計画</p>
<p>(1) 中条小学校と飛渡第一小学校の再編についての反対意見 (14件)</p> <p>複式学級は30年以前からであり、デメリットよりもメリットを感じている。</p> <p>若い世代や飛渡地域の環境に魅力を感じて移住してくる方々にも小学校は必要であり、児童数も少しずつ増えている。</p> <p>地域と小学校が良い関係であり、コミュニティスクールのモデルと言える。</p> <p>特色ある小規模校は、残すことを考えられないか。</p> <p>保護者や地域と話し合い、同意を得てから進めてほしい。</p>	<p>(1) 学校規模によってメリットとデメリットがあることは承知しておりますが、小規模校のメリットには、再編後の小学校でも対応することが可能なこともあります。良い取組はできるだけ引継ぎ、デメリットを克服しながら、より望ましい教育環境が整備されることになると考えます。保護者や地域の皆様にご理解いただけるよう説明させていただき、合意を得たうえで再編を進めます。</p>
<p>(2) 上野小学校と橘小学校の再編についての反対意見 (2件)</p> <p>橘小学校が、小規模校だから他校に比べ劣るとは考えられない。統合が必要ならば、川西地域の小学校を1校にする考えはないのか。</p>	<p>(2) 望ましい教育環境を整備するため、複式学級を解消するということから、第2次方針に示しております。川西地域を1小学校に再編することについては、検討いたしました。施設改修が伴うことから、今後10年間の第2次方針では計画しておりません。</p>
<p>(3) 川西中学校を中条中学校への再編について、直通路線バスがない。吉田中学校を含め、信濃川の西側に中学校1校があるべきではないか。</p>	<p>(3) 生徒の通学については、スクールバスを運行するなどの対応を行います。各中学校で少子化の影響があり、小規模な再編をして、さらに再編を繰り返すということよりも、本計画期間の先までを想定した再編として考えています。</p>
<p>(4) 中学校の再編組み合わせが、数合わせのようで納得できない。閉校後の学校利用は計画されているのか。</p>	<p>(4) ある程度の児童・生徒数による適正な学級規模を確保して、学校が持つ機能と役割をさらに充実させるという考えと、地域のつながりを考慮して組み合わせを検討しました。閉校後の校舎等の利用は、他目的の市や地域の施設として、或い</p>

<p>(5) 松代中学校と南中学校の再編についての反対意見（3件）</p> <p>子育てしやすい環境の崩壊が心配。</p> <p>小規模校の利点である目の届く教育を実践し、地域と連携しながら個人の能力を引き出す取組を行っている。</p> <p>通学距離が長くなり、就寝時間が短くなると学力向上や健康面が不安である。</p> <p>降雪による通学環境により部活動ができないのではないか。</p> <p>現在の校舎を大規模改修し、市外からの不登校生徒を受け入れるなどの様々な取組みにより人口増加策にできないか。</p> <p>中学校の閉校により、地域行事や地域経済だけでなく地域活力の衰退に拍車がかかる。</p> <p>過疎化を助長促進させるような政策をなぜ行うのか。</p> <p>小さな子どもを持つ親たちに説明を行ってほしい。</p>	<p>は民間への売却等についても検討して参ります。</p> <p>(5) 通学については、市営バスやスクールバスなどでの送迎を考えております。ご意見にありますように、部活動や冬期間の道路状況なども考慮した運行を計画したいと考えております。</p> <p>小規模校における課題を解消するために、この第2次方針を提案し、良い活動や取組については再編する学校へも引き継ぎながら、より良い教育環境となるよう進めて参ります。</p> <p>学区が広がることで、保護者の交流も増え、それぞれの地域への理解を深めることができ、子どもたちを含めて地域行事への参加なども考えられますので、教育委員会としても協力させていただきながら、活発な交流が図られることを期待しております。</p> <p>保護者や地域の皆様への説明については、これから実施させていただきます。</p> <p>なお、過疎対策、人口増加対策については、松代支所と連携しながら、市全体の取組の中で検討を進めて参りたいと考えます。</p>
<p>(6) 十日町中学校と中条中学校の校区について</p> <p>学区適正化検討委員会の答申のとおり、第1目標（H35年4月）までに再編すべき、10年後の再編では対応が遅すぎる。再編が遅れ、課題解決ができずに子どもたちへの不利益が解消されないときは、再編予定の中学校へ進学できる制度を整備してほしい。</p>	<p>(6) 中学校の統合目標年度は、学区適正化検討委員会の答申では、一部を除いて平成35年度（令和5年度）としていましたが、保護者や地域の皆様のご理解をいただくためには、さらに時間が必要と考え、本方針では令和10年度を目標としました。しかしながら、それまで再編できないのではなく、保護者や地域の合意が得られ、条件が整った時点で再編は可能となります。</p> <p>再編予定の中学校への進学につきましては、広く十分に検討を重ねる必要があると考えます。</p>

4 結果公表場所

市ホームページ、教育総務課、各支所地域振興課、各公民館、情報館